

# 「地域・企業・高校・大学が連携した 長沼町の新たなコミュニティの創造」成果発表会

## ■趣旨

2018年3月に行なった立命館大学の学生による「長沼町のデザイン」プレ・ワークショップ(※1)に参加した立命館慶祥高等学校の生徒が、長沼町を題材に町の課題を明確にし、それを解決するために、誰とどのように取り組むと良いか考えてきました。

長沼町の生活、暮らし、町を考えていくことで、生徒自身の生活や未来へのつながりが見えてきます。

生徒それぞれが、様々な手法で長沼町内を見て、人と対話し、長沼町のデザインをまとめてきた成果を下記の日程で発表します。

これらの取り組みは、長沼町に新しい価値を創造する第一歩につながるものと期待しています。

ぜひ、お越しいただき、生徒の発表に耳を傾け、いっしょに長沼町のデザインを考えてみませんか。

(※1) 活動報告URL

[https://www.maoi-net.jp/gyosei/machidukuri\\_houkaturenkei/kaigi\\_2018\\_03\\_15\\_16.htm](https://www.maoi-net.jp/gyosei/machidukuri_houkaturenkei/kaigi_2018_03_15_16.htm)

■日時 2019年 2月11日(月) 13:00から(2時間半程度)

■場所 夕張郡長沼町南町2丁目3番1号  
長沼町総合保健福祉センター「りふれ」2階研修室A・B  
電話 0123-82-5555  
URL <https://www.maoi-net.jp/shisetsu/0026.htm>

## ■参加予定者

- ・発表者 立命館慶祥高等学校 生徒(8名)
- ・指導者 立命館大学教授・客員研究員、立命館慶祥高校教諭
- ・その他 (株)ミサワホーム総合研究所  
ミサワホーム北海道(株)  
長沼町役場  
プロジェクトに協力していただいた方々  
生徒保護者  
住民の方々

## ■進行次第

- ・開会挨拶
- ・プロジェクト趣旨説明
- ・立命館慶祥高校生の発表

【ポスターセッション形式】

※ 各生徒がポスター(模造紙)に主張をまとめて掲示し、参加者が各生徒のところを訪れて話を聞き、質疑応答や意見交換を行うようなイメージです。

- ・まとめ